

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		乳幼児健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	鍛野 文昭
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	矢幡 茜
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康推進班	(内線)	2132
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 6	事業連番 10358	法根拠	成果優先度評価結果	④
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	乳幼児健診(4ヵ月、7ヵ月、1歳6ヵ月、3歳児健診)を実施し、乳幼児の健康の保持・増進を行なう。対象者へは、個人通知をしている。内容は、問診・身体計測・歯科健診・内科健診・栄養相談・歯科相談・保健相談、健診後のフォロー・未受診者のフォロー等。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	昭和40年公布された母子保健法の施行により、乳幼児の健康の保持・増進を図るために開始した。出生数の増加に伴い対象者数が年々増加しており、健診1回あたりの対象者数も多く、待ち時間が長くなっている。また専門スタッフの確保も難しくなっている。市町村保健師での情報交換や勉強会を実施しており、保健師としての質の向上に努めている。
【業務の流れ】	健診スタッフ(医師・歯科医師・看護師・保健師・助産師・歯科衛生士・栄養士)の確保及び覚書・臨時任用通知書を作成し、契約を結ぶ。年間出動予定表を調整し作成、場所の確保を行なう。健診対象者名簿を打ち出し、対象者へ通知を郵送。日程はすこやかカレンダー・広報に掲載し周知を図る。健診会場の準備。健診材料の発注及び支払い事務。健診を実施し、終了後ミーティングを行なう。健診スタッフへの支払い事務。健診結果入力及び、要フォロー者・未受診者への連絡。
【主な予算費目】	報酬、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	話を聞いてもらい、アドバイスを受け不安が解消された、安心できた、待ち時間が長かったなどの意見がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
4ヵ月児健診12回×2カ所(受診者数:652人) 7ヵ月児健診12回×2カ所(受診者数:649人) 1歳6ヵ月児健診12回×2カ所(受診者数:696人) 3歳児健診12回×2カ所(受診者数:742人)		4ヵ月児健診12回×2カ所 7ヵ月児健診12回×2カ所 1歳6ヵ月児健診12回×2カ所 3歳児健診12回×2カ所 乳児健診後フォローアップ教室 6回
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人	予算の主な増減の理由
→ア:受診者数	人	健康になろう事業の栄養士の報酬及び母子保健推進員設置事業を乳幼児健診事業に統合したための増。健診対象者の増加による賃金及び役務費の増。
→イ:回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市民該当児		→ア:合志市民該当児
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
健康を保持し、健やかに発育発達できる。		→ア:健診受診率
		→イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
健診を受診することで、乳幼児の健康の増進を図ることになり、本事業の意図へつながるため成果の指標とする。健診を受けられる体制を維持し、受診率が低下しないよう働きかけていく必要がある。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	人	2,697	2,645	2,720	2,739	2,750	2,750	2,750	2,750
	イ	回	96	95	96	96	96	96	96	96
	イ	回								
②対象指標	ア	人	2,757	2,709	2,750	2,785	2,750	2,750	2,750	2,750
	イ									
③成果指標	ア	%	97.8	97.6	98	98.35	98	98	98	98
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円					216		
		都道府県支出金	千円		500	723	824	216		
		地方債	千円							
		その他	千円		40	30	30	30		
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	13,642	17,876	16,109	15,917	18,292	18,700	18,700
		(A)事業費計	千円	13,642	18,416	16,862	16,771	18,754	18,700	18,700
		(A)のうち指定経費	千円	6,833	11,253	9,823	9,458	11,321	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	11,614	14,083	7,968	12,689	7,968	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	10	10	9	11	9	0	0	
	延べ業務時間	時間	2,853	3,535	2,000	3,185	2,000	0	0	
	(B)人件費計	千円	11,614	14,083	7,968	12,689	7,968	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	25,256	32,499	24,830	29,460	26,722	18,700	18,700	

事務事業名	乳幼児健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 健診未受診者へは電話連絡及び訪問等を実施し、受診勧奨をおこなった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 専門スタッフを配置し、年間を通して実施予定。未受診者への連絡・受診勧奨も実施していく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 受診率を向上させるため、周知徹底を行う。また、未受診者へは電話及び訪問を実施し受診勧奨をしていく。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 母子保健推進員設置事業を統合 マタニティ学級を廃止し、乳幼児健診事業にて健診フォローアップ教室(栄養教室)を開催	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 嘱託医報酬は嘱託医設置事業として、その他についても最低限の事業費で行っている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限での人件費をあてている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 母子保健法により自治体に健診実施が義務付けされている。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 生活・家庭に密着したライフスタイルの視点のもと地域に根ざした関わりが必要のため、適正である

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

専門スタッフの協力により予定通り実施できた。今後も受診率の向上を目指して受診勧奨を行っていく必要がある。対象者数が多く、1回の健診時間も長くなってきているため、集団指導を取り入れ、必要な方へのみ個別指導を行うなど、健診時間短縮を図った。また子どもの発育発達を促すための関わり方について周知を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成27年度より乳児健診のフォローアップ教室として、栄養教室を開催し、健やかな発育発達を促す支援を行う。 また、乳幼児健診で早期発見・早期治療(療育)の取り組みができるようにスタッフの質の向上に努める。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 健診フォローアップ教室への参加率。乳児健診の受診率は約99%あるため、受診者へ教室の周知を行っていく。																						